

【五級審査のポイント】

受審者名 ()

審査のポイント

- ・名前を呼ばれたら、はっきりと返事をする。
- ・審査員は正面に向かい、右端に座る。
- ・受審者は正面に向かって右に座り、受けをとる者は受審者と同レベルとし、正面に向かって左に座る。
- ・審査の前後に礼をきちっと行う。正面→先生→互い。互い→先生→正面。または先生の指示に従う。
- ・間違えても声を出さず、技をやり直す。
- ・審査の間は許可のない発言はしない。
- ・受けは投げられていないのに勝手に受けを取らない。
- ・師範・審査員の指示する「技」を左・右、表・裏、または左・右連続して行い、「やめ」がかかるまで継続して行う。

共通する技のポイント

- ・技の表と裏をはっきりと区別できているか。
- ・姿勢よく技を行っているか。体は常に垂直に。

五級審査技のポイント

太字：合気会本部道場・絆会・ダバオ合気会

	攻撃等	技・動き	ポイント
基本動作		膝行	・膝行中、踵が臀部の下に収まっているか。 ・進行方向、前方を向いて膝行しているか。
		後ろ(反転)受身	・受身の初動で踵が伸びているか。 ・残身は、きちっと半身になっているか。 ・座った半身から座った半身、立法半身から立法半身。 ・右半身→右半身、左半身→左半身 右半身→左半身、左半身→右半身
		前方回転受身	・右半身→右半身、左半身→左半身 ・受身の残身は、正面に向かって半身になっているか。
		後方回転受身	・受身の初動で踵が伸びているか。 ・受身後、受身前と同じ半身になっているか。
		前(前倒)受身	・足を固定して前倒受身。 ・足元の床に手を固定して、足を後ろ伸ばして受身。
		(片手取り)転換法	・後方転換。残身は両手掌が上になっているか。
立技	正面打ち	一教 表・裏	・一教の腕抑えが体現できているか。 ・座り極めは跪座になっているか。 ・片手取り、肩取りで顔面への当身による間合いがしっかりとれているか。
	(逆半身)片手取り	一教 表・裏	
	片手肩取り	一教 表・裏	
立技	正面打ち	二教 表・裏	・二教の小手回しが体現できているか。 ・座り極めで、跪座になっているか。 ・裏の立極めの方向：相手対し腰が正対しているか。
	片手肩取り	二教 表・裏	
立技	(逆半身)片手取り	四方投げ 表・裏	・片手取り：相手の手をきちっと外せるか。 ・横面打ち：表は表捌きで。裏は側面入身捌きで。 ・転回捌きで、反り返っていないか。 →相手と背中の中の隙間はないように。 ・最後は座り極めで。それまでは投げで。
	横面打ち	四方投げ 表・裏	
立技	正面打ち	入身投げ	・相手の首に当てる手は矢筈やはずになっているか。
立技	諸手取り呼吸法		・頭上まで手を上げられているか。 ・表捌き・裏捌きをしっかり表現する。
座技	座技呼吸法		・極めで、跪座になっているか。 ・両足が臀部の下にきちっと収まっているか。